

開講年度：2026

科目名	医学概論 I Overview of Medicine 1	題目（副題）	早期体験 医学の歩みと未来を考える
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 田中 直樹	森淳一郎(5821)	
学年、講義期間、曜日・時限	1年次 通年 月曜・3時限		
単位数、講義室	2 単位 医学科第 2 実習室 旭総合講義室 A B	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業達成目標
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。	⇔	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。
	≪プロフェッショナリズム≫温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。	⇔	温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。
臨床実習前の到達目標	・医学・医療の歴史的な流れ、臨床推論や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントなどの意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・災害医療を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿、防災減災、キャリア		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	医学概論講義：科学と医術，医学史，健康，倫理，コミュニケーション，医療システム，医療経済，医療と安全，医師の使命，地域医療， 早期体験実習：医療・介護・福祉，高齢者，人間の尊厳，信州，フィールド学習 信州大学の基礎研究を知る 国際共修 自分の取り得るキャリアについて知る。 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	医療と医学研究における倫理の重要性について概説できる。 患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つことの重要性について概説できる。 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身に付ける。 患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力について概説できる。 患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することの重要性を概説できる。 地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を概説できる。 医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を身に付ける。 生涯にわたり自己研鑽を続けることの大切さについて概説できる。 生活習慣とそのリスクについて概説できる。 個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について概説できる。 地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題について概説できる。 保健・医療・福祉・介護の制度について概説できる。 緩和ケアについて概説できる。 早期体験実習： 1）礼儀正しく患者（施設利用者）や家族と接することができる。 2）礼儀正しく謙虚に職員と接することができる。 3）患者の苦痛や障害に配慮できる。 4）患者・障害者の人格を尊重した人間関係を築くことができる。 5）高齢者介護や障害者医療におけるチーム連携について説明できる。		

授業の概要・一般目標	該当コアカリキュラム PR-01～03：プロフェッショナリズム GE-01-03：患者中心の医療 RE-01：医学研究における能動的姿勢と探求心 IT-01:情報・科学技術に向き合うための準備
テキスト，教材，参考書	その他の参考図書は講義の際に適宜紹介する。
履修上の注意	医学概論の中間部分で行なわれる早期体験実習は、信州大学の医学部生の将来のために、各施設の皆様のご理解とご指導により成り立っていることを深く認識し、謙虚な気持ちで実習させて頂く姿勢を忘れないで頂きたい。 講義、実習のいずれについても、遅刻や無断欠席など社会規範を遵守しない態度は許されない。 講義室は、第2実習室を使用する。個々の日程と講義室については教員からその都度連絡する。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	医学概論講義：パワーポイントなどを用いた講義形式およびグループ討論。 早期体験実習：各施設において終日実習を行う。
成績評価の方法	期末試験を40点、授業中の小レポート等40点、早期体験実習20点、教員評価を10点とし、合計点にて評価を行う。ただし、合計点は100点は超えないものとする。 期末試験では主に医学英語の定着度合いを確認する。 授業中の小レポートでは、医学/医師の仕事に対する理解度を確認する。 ※なお、感染症の流行等の理由により、早期体験実習が実施できない場合には期末試験を60点とする。 期末試験では、各授業日に掲げてある内容を達成しているかをはかる。 【全体を通して】 専門家話を聞いて、自身の問題として考えることを促すことを重視する授業となっていることから、学外講師の授業については参加必須とし、学外講師の授業を欠席する毎に成績から減点する。
成績評価の基準	早期体験実習の発表およびレポートをふくめ、授業への取り組み状況、期末試験、レポートおよび発表の内容により評価する。 小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。 合計が60点未満は不可とする。 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、信州大学医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	課題については、授業中、指示をする。 本授業の単位修得には32時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	医学概論は、医学への高い志を持って入学してきた学生諸君が最初に経験する医学教育である。医学の素晴らしさとその責任の重さ、社会からの期待を感じ取り、その高い志をさらに高めるべく真摯に学んでいただきたい。 連絡先：森淳一郎（医学教育研修センター：内線5821、jimori@shinshu-u.ac.jp） 田中直樹（国際交流推進室：naopi@shinshu-u.ac.jp）

授業日	第 1 回	4月13日(月 3)	SB0s	GR-02-01 GE-04-01 S0-04-01
講義室	GI0	修学ガイダンス/ 「健康」について考える		○健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境を説明できる。 ○社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health)）を概説できる。 ○現代および将来の医学が求めるべき「健康」について自分の考えを述べるができる。 ○WHO（世界保健機構）が示す健康の定義とその内容を説明できる。
担当		森 淳一郎（医学教育研修センター）		
授業日	第 2 回	4月20日(月 3)	SB0s	CS-05-02 CS-05-04
講義室	GI0	「感染症」について学ぶ		○安全の確保 ○医療従事者の健康と安全 ○院内感染 ・標準予防策 ・感染症蔓延予防についての基本的な知識を習得する。
担当		金井 信一郎（感染制御室）		
授業日	第 3 回	4月27日(月 3)	SB0s	AS0-04-05 PR-04-01 RE-05-01 RE-05-02
講義室	GI0	医療における倫理について理解する		①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 ④ 先端医療技術に関連した生命倫理学的問題について自分の考えを述べるができる。
担当		福岡 義光（遺伝医学）		
授業日	第 4 回	5月 1日(金 3)	SB0s	
講義室	GI0			
担当				
授業日	第 5 回	5月11日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	GI0	信州大学の国際交流を知る： e-Learning を用いた医学英語、オンライン国際共修（COIL）のガイダンス		○ 信大医学部の海外留学プログラムを理解する。 ○ 基礎的な医学英単語のルール（スペル、発音、接頭辞・接尾辞）を学ぶ。 ○ e-Learningシステム（ALC NetAcademy NEXT）教材を用いた医学英語勉強法について、説明する。 ○ 夏休み明けのオンライン国際共修（COIL）について、説明する。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
担当		田中 直樹（国際交流推進室）		
授業日	第 6 回	5月18日(月 3)	SB0s	S0-01-02 S0-01-03
講義室	GI0	日本の医療システムを理解する		○日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を概説できる。 ○医療保険、介護保険及び公費医療を概説できる。 ○医療における費用対効果について概説できる。 ○医療資源と医療サービスの価格形成を概説できる。診療報酬制度を概説できる。
担当		野見山 哲生（衛生学公衆衛生学）		
授業日	第 7 回	5月25日(月 3)	SB0s	S0-05-01
講義室	GI0	長野県の地域医療と信州大学の取り組みを知る		○地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 ○かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 ○わが国の地域医療の現状と課題を述べるができる。 ○長野県の地域医療推進に対する信州大学の取り組みを概説することができる。 ○地域医療と集中型先進医療の両者の重要性について自分の考えを述べるができる。
担当		和田 有子（地域医療推進学）		
授業日	第 8 回	6月 1日(月 3)	SB0s	PS03-05
講義室	GI0	救急医学を学ぶ		○地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
担当		今村 浩（救急集中治療医学）		
授業日	第 9 回	6月 8日(月 3)	SB0s	S0-04-03
講義室	GI0	救急医学・災害医学を学ぶ		○地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 ○災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。 ○災害時、非常時における医師の使命について自分の考えを述べるができる。
担当		白子 隆志（下伊那赤十字病院）		
授業日	第 10 回	6月15日(月 3)	SB0s	S01-03 GE-03-03
講義室	GI0	「新しい生命を育む医療」について理解する		○地域における、保健（母子保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ○超低体重出生児を救う第一線の医療の最近の成果について説明できる。 ○それが患者および家族にとってどのような福音となるか説明できる。 ○今後の医療の発展について自分の考えを述べるができる。
担当		廣間 武彦（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター長）		

授業日	第 11 回	6月22日(月 3)	SB0s	GE-01-06 ○緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 ○全人的苦痛を概説できる。 ○緩和ケアにおける心理社会的苦痛を概説できる。 CS01-01 ○コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○Bad News を伝える方法としての SPIKES を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GI0	緩和ケアを理解する			
担当	山田 祐司（愛和病院）			
授業日	第 12 回	6月29日(月 3)	SB0s	S0-01-03 PS02-11 ○地域における、保健（母子保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ○産科医の喜びを説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GI0	「新しい生命を育む医療」について理解する 2			
担当	浅香 亮一（産婦人科学）			
授業日	第 13 回	7月 6日(月 3)	SB0s	CM-02-01 CM-02-03 CM03-01 CM-03-02 IP-01 TP-02 PR-01 PR-02 ○リスボン宣言等示された患者の基本的権利を説明できる。 ○患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ○インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 ○患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを説明できる。 ○医師が患者に最も適した医療の考え方を概説できる。 ○医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 -- 早期体験実習は8月下旬から9月上旬にかけて3班に分かれて行う。 実習施設は医学概論の講義の際に各自の希望を優先して学生の委員が調整する。 今年度の実習施設については後日通知する。 実習に際しては現地集合、現地解散が原則となる。 学生保険に加入していることが前提となる。 第1班 8月24日（月）～8月26日（水） 第2班 8月31日（月）～9月2日（水） 第3班 9月7日（月）～9月9日（水） 1日目 9:00 第1講義室にてオリエンテーション、13:00 各施設にてオリエンテーション、実習
講義室	医学科第2実習室			
GI0	医師の責務と裁量について考える。 【早期体験実習準備】			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 14 回	7月13日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02 ① e-Learningシステム（ALC NetAcademy NEXT）を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修（COIL）の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語（スペル、発音、接頭辞・接尾辞）をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	医学科第2実習室			
GI0	e-learningを用いた医学英語 ① オンライン国際共修（COIL）の準備			
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 15 回	9月28日(月 3)	SB0s	LL-01-01 ○必要な課題を自ら発見できる。 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ○適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	【基礎医学教室訪問】※参加必須 基礎医学教室訪問に向けたグループ分けと準備を行う。 e-Learning を用いた医学英語② オンライン国際共修（COIL）の準備			
担当	藤井 千文（医学教育研修センター）、田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 16 回	10月 5日(月 3)	SB0s	早期体験実習のまとめとして、施設ごとのグループに分かれて実習で学んだことの発表を行う。 レポートを提出し報告書を作成する。この編集も学生が行う。
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	早期体験実習成果発表			
担当	田中 直樹（国際交流推進室）、森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 17 回	10月14日(水 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02 ① e-Learningシステム（ALC NetAcademy NEXT）を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修（COIL）の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語（スペル、発音、接頭辞・接尾辞）をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	e-Learning を用いた医学英語 ③ オンライン国際共修（COIL）の準備			
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			

授業日	第 18 回	10月19日(月 3)	SB0s	CM-01 CM-02 CM-03
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	【コミュニケーション概論】 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションについて考える。			○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、 コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築ことの重要性を説明できる。 ○傾聴と共感について説明できる。
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 19 回	10月26日(月 3)	SB0s	RE-01 RE-02 RE-03
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	【基礎医学について知る】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			【教室訪問日】 担当する教室への訪問のみ。教室に集合する必要はありません。
担当	藤井 千文（医学教育研修センター）			
授業日	第 20 回	11月 2日(月 3)	SB0s	各グループパワーポイント3枚以内、3分以内で発表を行う。当日までにグループ毎にパワーポイントを用意すること。 以下を必ず入れること。 ・教室の主な研究概略 ・研究室の様子や雰囲気
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	【基礎医学について知る（発表会）】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			
担当	藤井 千文（医学教育研修センター）			
授業日	第 21 回	11月 9日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	オンライン国際共修（COIL） ①			① 1年生を3グループに分け、グループ1が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 発表にむけて、プレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは講義時間を早期体験実習の発表準備（森先生）、e-Learningシステムを用いて医学英語の学習を行う。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 22 回	11月16日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	オンライン国際共修（COIL） ②			① 続いてグループ2が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 23 回	11月26日(木 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	オンライン国際共修（COIL） ③			① 最後にグループ3が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 24 回	11月30日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	COILグループ1 発表会			① グループ1が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 25 回	12月 7日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	COILグループ2 発表会			① グループ2が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 26 回	12月14日(月 3)	SB0s	S0-05-02 RE-02-02
講義室	旭総合講義室A B			
GI0	COILグループ3 発表会 ※基礎教室訪問、事前課題の提出締め切り日			① グループ3が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中 直樹（国際交流推進室）			

授業日	第 27 回 12月21日(月 3)	SB0s	RE-01 RE-02-02 LL-01-01
講義室	旭総合講義室A B		
GI0	海外研究留学の勧め： ノーベル賞受賞者 オルター先生との共同研究の思い出 ―C型肝炎ウイルス発見の恩恵は計り知れない―		① 医学研究の楽しさ、海外の研究者との交流が人生の財産となることを理解してほしい。 ② 信州や日本にとどまらず、グローバルに活躍する気持ちを持ってほしい。
担当	清澤 研道（信州大学名誉教授）、田中 直樹（国際交流推進室）		
授業日	第 28 回 1月 4日(月 3)	SB0s	LL-01-02
講義室	旭総合講義室A B		○キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。 ○医師の使命とやりがいについて説明できる。 ○生涯学習について考える。 ○医師のパーソナルライフについて考える。
GI0	【キャリアパス】 医師の使命とキャリアパスについて考える。		
担当	本藤 奈緒（卒後臨床研修センター）		
授業日	第 29 回 1月18日(月 3)	SB0s	LL--01-02 S0-01-01
講義室	旭総合講義室A B		○厚生労働省の機能と役割について概説できる。
GI0	【医療行政職について知る】 自身がとり得る職業の一つとして、医療行政職とはどんな職業かを知る。 ○授業のふりかえりを入力する		
担当	市村 崇（環境省）		
授業日	第 30 回 1月25日(月 3)	SB0s	
講義室	旭総合講義室A B		
GI0	【期末試験】		
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）、田中 直樹（国際交流推進室）		